MITSUBISHI ELECTRIC

1805873HN4401

三菱同時給排気形換気扇「J-ファン」

形 名

V-06JC2（-BE）
V-08JC2（-BE）
V-10JC2（-BE）
V-12JC2（-BE）
V-14JC2

据付説明書

販売店・工事店様用

■据付けを始める前に、この説明書をよくお読みになり、正しく安全に据付けてください。

■据付け、壁穴工事はお買上げの販売店・専門の工事店様が実施してください。
（間違った据付け、工事は、故障や事故の原因になります）

■電気工事は電気工事士の方が実施してください。

■この製品は居室に据付けてください。
それ以外の用途・場所には使用しないでください。
（故障の原因になります）

1. 安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性のあるもの
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの

●図記号の意味は、次のとおりです。

禁止	水ぬれ禁止	分解禁止	風呂・シャワー室での使用禁止	指示に従う

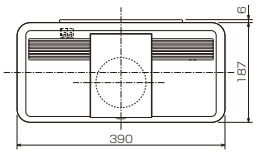
⚠警告

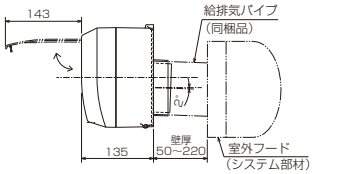
禁止	●壁据付専用のため、天井には据付けない 落下によるけがの原因。	指示に従う	●交流100Vを使用する 火災・感電の原因。
分解禁止	●改造や必要以上の分解はしない 火災・感電・けがの原因。 修理はお買上げの販売店または「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口」にご相談ください。		●外気の取り入れ口は燃焼ガス等の排気を吸い込まない、積雪で埋もれたりしない位置を選ぶ 新鮮な空気が取り入れられず、室内が酸欠状態になる原因。
風呂・シャワー室での使用禁止	●浴室など湿気の多いところには据付けない 感電の原因。		●本体の据付けは十分強度のあるところを選んで確実に行う 落下によるけがの原因。
水ぬれ禁止	●製品を水につけたり、水をかけたりしない ショート・感電の原因。		●指定の電線を使用して、抜けないように確実に接続する 接続に不備があると火災の原因。
			●電気工事は電気工事士の方が「電気設備に関する技術基準を定める省令（及び同解説）」及び「内線規程」に従って安全・確実に行う 接続不良や誤った電気工事は感電・火災の原因。

⚠注意

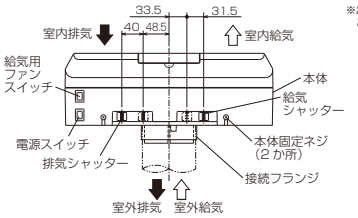
禁止	●高温（40℃以上）になる場所や直接炎があたったり、油煙の多い場所や有機溶剤・可燃性ガスのある場所には据付けない 火災の原因。	指示に従う	●据付けの際は必ず手袋を着用する 着用しないとけがの原因。
指示に従う	●端子台カバーは電気工事後必ず据付ける ほこり・湿気などにより漏電・火災の原因。		●ドレン排出は、据付説明書に従って確実に行う 水濡れによる感電・火災や家財の破損の原因。
	●給排気パイプは室外に向かって下りこう配になるように据付け、断熱処理を確実に行う 雨水の浸入による感電・火災や家財等を濡らす原因。		●専用システム部材（別売）の室外フードを据付ける 雨水の浸入による感電・火災や家財等を濡らす原因。
			●長期間ご使用にならない場合は、分電盤のブレーカーを切る 絶縁劣化による感電・漏電火災の原因。

2. 各部のなまえと外形寸法図

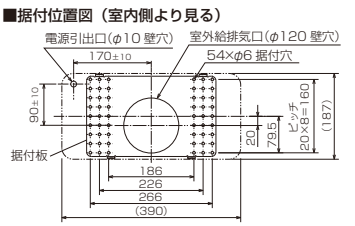




※220㎜を超える壁厚に据付ける場合は、別売給排気パイプ（P-100P-S）をご使用ください。（壁厚1000㎜までの据付可）



■据付位置図（室内側より見る）



単位(㎜)

同梱部品

木ネジ……4本
給排気パイプ（長さ250㎜）……1個

3. 据付け前のお願い

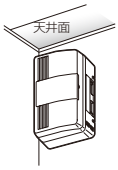
●台所のような油煙の多い場所や有機溶剤のかかる場所には据付けないでください。

●塩害、温泉害の発生している場所には据付けないでください。（故障の原因になります）

●タテ据付けはできません。

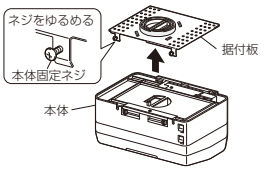
●壁板は、振動・共鳴音防止のため強度のあるものを据付けてください。

●室外フードはコウモリ等の小動物の侵入のおそれがある所にはP-50CVPタイプ以外の専用フード（防虫網付など）をご使用ください。



4. 据付け前の準備

本体固定ネジ2本をゆるめて、本体から据付板をはずす。
本体固定ネジは、据付時に必要です。



5. 据付方法

●室外フード後付け/室外フード先付けによって据付方法が異なります。
（マンションで外装工事を先に仕上げる場合に、室外フードを先に付けておくことができます）

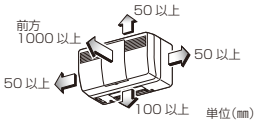
●室外フード先付けの場合パイプ固定板（P-50AP：別売）が必要です。

室外フード後付けの場合 本体を壁に据付けた後で、室外フードを据付ける据付方法です。

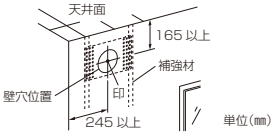
1 壁穴工事

1 壁穴位置を決める

●本体の周囲には右図寸法以上の空間が必要です。



（1）壁穴位置を決める。
●補強材（壁内）が据付板を固定できる位置にあるか確認する。
●必ず床面より1800㎜以上のメンテナンス可能な位置に据付ける。
（2）壁穴位置の中心に印を付ける。

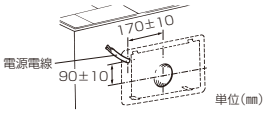


2 φ120㎜の壁穴をあける

2 電源電線の引き出し

電源電線を引き出す

（1）右図を参照して電源電線取り出し位置を確認し、穴をあける。
（2）電源電線を室内側へ引き出す。
電源電線はVVF単線2芯φ1.6㎜またはφ2.0㎜をご使用ください。

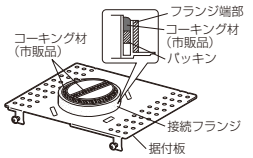


3 据付板と給排気パイプの組立

1 コーキング材の塗布

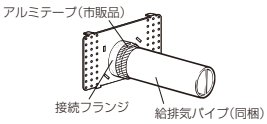
●据付板の接続フランジに市販のコーキング材を塗布する。

お願い
●フランジ端部より高く塗布してください。
（パイプを押し込んだときにコーキングしきれない場合があります）
●コーキングしないと雨水が浸入します。
●コーキング材硬化前に次の作業をしてください。



2 給排気パイプを接続フランジに据付ける

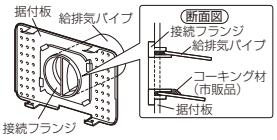
（1）給排気パイプ（同梱）を接続フランジの溝の奥まで確実に入れる。
（2）接続フランジと給排気パイプを市販のアルミテープで巻き付けて固定する。
●確実に固定しないと、ドレン水が漏れるおそれがあります。



3 接続フランジと給排気パイプ接続部のコーキング

●接続部の下から半分を内側からコーキングする。

お願い
●コーキングしないと雨水が浸入します。
●コーキング材を付けたあと表面を平らにしてください。



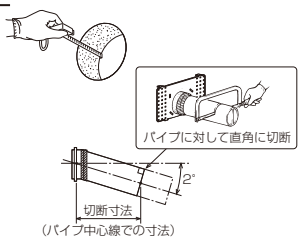
4 給排気パイプを切断する

（1）壁厚を測る。
（2）下表の寸法で給排気パイプを切断する。
（室外フードによって切断寸法が異なります）

室外フード	切断寸法
防火ダンパー付	壁厚＋10㎜
防火ダンパーなし	壁厚＋30㎜

（3）給排気パイプが室外側に傾斜しているか確認する。
（傾斜していないと、ドレン水の逆流や雨水が浸入します）

お願い
●給排気パイプには結露防止のため断熱処理をしてください。

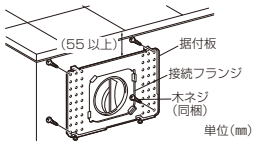


4 据付板の据付け

据付板を固定する

（1）給排気パイプを壁穴に通す。
（2）天井・壁からの寸法を確保して、据付板の水平を確認し、補強材のある位置に木ネジ4本（同梱）で据付板を固定する。

お願い
●木ネジはできるだけ4すみの均等な位置で固定してください。
●据付板は水平（1°以内）に据付けてください。
●コンクリート壁の場合は市販のコンクリートビスで固定してください。



5 電気工事

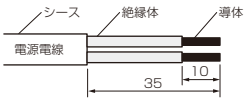
⚠警告

●交流100Vを使用する　直流や交流100V以外を使用すると感電の原因。
●指定の電線を使用して、抜けないように確実に接続する　接続に不備があると火災の原因。
●電気工事は電気工事士の方が「電気設備に関する技術基準を定める省令（及び同解説）」及び「内線規程」に従って安全・確実に行う　接続不良や誤った電気工事は火災・感電の原因。

5. 据付方法 室外フード後付けの場合 5 電気工事 つづき

1 端子台カバー固定ネジをゆるめて、端子台カバーをはずす

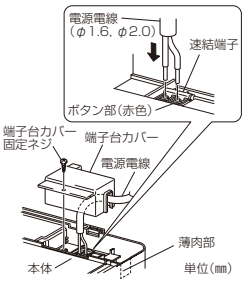
2 結線をする（100V専用）
（1）電源電線を右図寸法に合わせて皮むきし、確実に速結端子に差し込む。
（2）電源電線を軽く引いて速結端子から電源電線が抜けないことを確認する。



単位(㎜)

3 端子台カバーを据付ける
（1）端子台カバーを据付ける。
（2）端子台カバー固定ネジで端子台カバーを固定する。
●電源電線を右図のように端子台カバーから引き出してください。
※薄肉部は電源電線を本体から引き出す場合に切り欠きます。

お願い
●電源電線を速結端子よりはずす場合は、ボタン部（赤色）を押しながら電源電線を引き抜いてください。
●端子台カバー固定ネジを締めすぎないでください。ネジ穴が破損する原因となります。

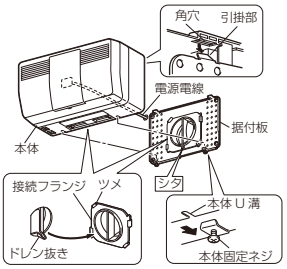


単位(㎜)

6 本体の据付け

本体の固定
（1）据付板引掛部（上側）に本体を引っ掛ける。
●本体裏面のドレン抜きを接続フランジの中に入れてください。
（2）本体を壁側に押しつけて、本体固定ネジ2本（下側）で固定する。

お願い
●接続フランジがツメ4か所ともかかっていることを確認してください。
●接続フランジの刻印「シタ」が据付板の下側にあることを確認してください。
●インパクトドライバーは使用しないでください。
本体の固定部分が破損するおそれがあります。



7 室外側据付け

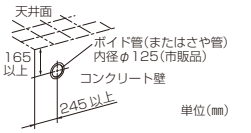
別売の室外フードを据付ける
据付方法は室外フードに付属の据付説明書を参照してください。

室外フード先付けの場合

マンションで外装工事を先に仕上げる場合に、室外フードを先に付けておくことができます。
以下では、マンションへの据付けを想定して説明しています。

1 壁穴工事

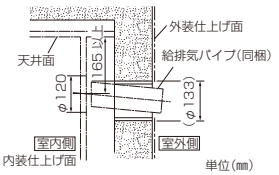
1 壁穴位置を決める
（1）右図を確認し壁穴位置を決める。
●必ず床面より1800㎜以上のメンテナンス可能な位置に据付ける。



単位(㎜)

2 壁穴をあける
（1）市販の内径φ125㎜のボイド管（またはさや管）を入れ、コンクリート壁を作る。
（2）ボイド管（またはさや管）を引き抜く。

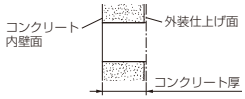
3 外装面を仕上げる



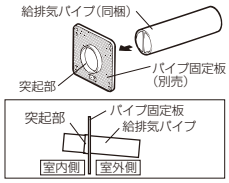
単位(㎜)

2 パイプ固定板と給排気パイプの組立

1 コンクリート厚を測定する
●右図を参照してコンクリート厚を測る。



2 給排気パイプの挿入
●パイプ固定板（P-50AP：別売）が必要です。
●パイプ固定板に給排気パイプ（同梱）を挿入する。
●パイプ固定板には方向性があります。
突起部が室内側になります。

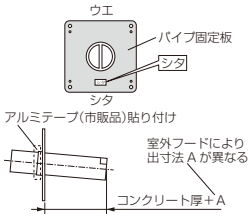


3 パイプ固定板と給排気パイプを固定する
（1）パイプ固定板の上下方向を確認する。
（2）コンクリート厚＋給排気パイプ室外出寸法Aを決める。

室外フード	パイプ室外出寸法A
防火ダンパー付	10㎜
防火ダンパーなし	30㎜

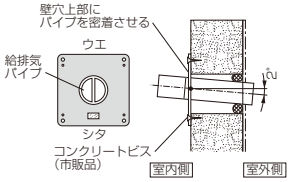
（3）市販のアルミテープで固定する。

お願い
●給排気パイプには結露防止のため断熱処理をしてください。



3 給排気パイプの据付け

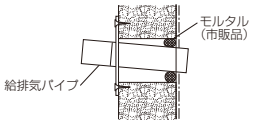
（1）パイプ固定板の上下方向を確認し、給排気パイプを壁穴に通す。
（上下方向注意）
（2）室内側の給排気パイプを壁穴の上部に密着させる。
（3）コンクリートビスの固定位置に印をする。
（4）給排気パイプを一旦取り出す。
（5）コンクリートビスの予備穴をあける。
（6）給排気パイプを挿入しネジ止めする。
（市販のコンクリートビス4本）



4 室外側据付け

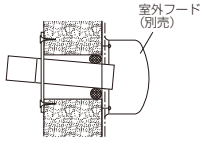
1 壁穴をふさぐ
●給排気パイプと壁穴のすき間を市販のモルタルなどでふさぐ。

お願い
●給排気パイプには傾斜が必要です。
ふさぐ際に上下に無理な力を加えずに仕上げてください。



2 別売の室外フードを据付ける
●据付方法は室外フードに付属の据付説明書を参照してください。

この時点で室外側の据付けは完了です

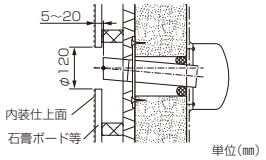


5 内装工事

1 給排気パイプの切断と内装仕上
（1）内装仕上面から給排気パイプ端部の寸法が5～20㎜以内の範囲になるよう給排気パイプを切断する。

お願い
●内装仕上面から給排気パイプ端部の寸法（5～20㎜）を守ってください。

（2）内装仕上面の給排気パイプ位置にφ120㎜の穴をあける。



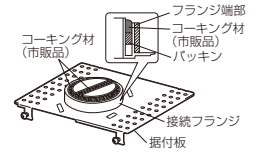
単位(㎜)

2 電源電線の引き出し
裏面の 室外フード後付けの場合 の 2 電源電線の引き出し と同様に行なう。

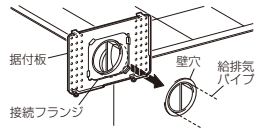
6 据付板の据付け

1 コーキング材の塗布
●据付板の接続フランジに市販のコーキング材を塗布する。

お願い
●フランジ端部より高く塗布してください。
●コーキングをしないと雨水が浸入します。
●コーキング材硬化前に次の作業をしてください。

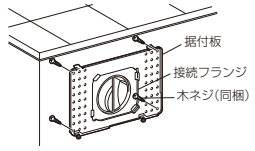


2 接続フランジと給排気パイプの接続
●接続フランジを壁内の給排気パイプに挿入する。



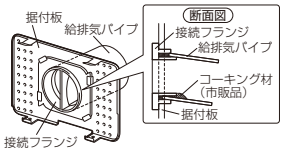
3 据付板の固定
●据付板の水平を確認し、補強材のある位置に木ネジ4本（同梱）で据付板を固定する。

お願い
●木ネジはできるだけ4すみの均等な位置で固定してください。
●据付板は水平（1°以内）に据付けてください。
●コンクリート壁の場合はコンクリートビスで固定してください。（市販品）



4 接続フランジと給排気パイプ接続部のコーキング
●接続部の下から半分を内側からコーキングする。

お願い
●コーキングをしないと雨水が浸入します。
●コーキング材をつけたあと表面を平らにしてください。



以下の据付けは 室外フード後付けの場合 と同様に行なう。

7 電気工事

8 本体の据付け

6. 据付け後の確認

■据付け終了後、試運転の前にチェック表（下記）に従って点検します。
■不具合があった場合は必ず直してください。（機能が発揮されないばかりか、安全性が確保できません）

■チェック表

	チェック項目	不具合時の対策	チェック
据付け	本体の据付け強度は十分ですか？		
	本体が確実に据付けられていますか？	本体固定ネジを締め直す	
	コーキングはしましたか？（接続フランジと給排気パイプの接続、室外フード）	コーキングをします（コーキングをしないと雨水が浸入します）	
試運転	電圧は100Vですか？	100Vに直します（異電圧を印加すると破損します）	

7. 試運転

■お客様立ち合いで、試運転を行ってください。

1 電源を入れる
（1）分電盤ブレーカーを入れる。
（2）給気・排気シャッターを「ひらく」の位置にする。
（3）電源、給気用ファンスイッチを入れる。

2 異常な振動・騒音がないか確認し、確認後停止する
（1）本体スイッチおよび分電盤ブレーカーを切る。（給気用ファンスイッチは「入」のままにする）
（2）給気・排気シャッターを「とじる」の位置にする。（お客様がご使用になるまで製品内にほこりが入らないようするため）

8. お客様への説明

●この「据付説明書」は、別冊の「取扱説明書」とともにお客様にお渡しください。
●分電盤ブレーカーの位置をお客様へ説明してください。
●チェック表の結果をお客様へお知らせください。
●別冊の取扱説明書に従って、正しい使い方をお客様または発注者（オーナー・ゼネコン）や管理者へ説明してください。

三菱電機株式会社
中津川製作所 〒508－8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号